問　主な質問と答弁

9月定例会中の一般質問は、9月14日、15日、16日、17日の4日間にわたって行われました。今回の質問者は19人で、防災、環境、福祉、都市整備、教育などについて、市の考えをただしました。

いじめ防止プログラム
鵠沼小学校でもモデル実施
いじめを許さない学校づくりを目指す

質問　今年度の施政方針では、いじめの未然防止、安心できる学校及び学級づくりのため、いじめ防止プログラムの実施校を拡大するとのことだったが、実施校の取り組み状況と今後の展開について聞きたい。

答弁　今年度は、継続校である村岡、湘洋、御所見、片瀬の各中学校に加え、新規校として湘南台、大庭、高浜の各中学校、鵠沼小学校を含めた合計八校で実施する。これまでは中学校を対象としてきたが、いじめ防止に対する意識づけをより早い段階から実施することによる、いじめの発生抑制の効果を検証するため、モデルケースとして鵠沼小学校の六年生を対象に実施することとした。

実施校における取り組みとしては、いじめ防止プログラムの実施後、生徒同士による支え合いの活動として、生徒有志によるスクールバディがいじめを未然に防ぐためのさまざまな企画を考え、情報の発信を行い、学校からいじめの傍観者をなくすための活動を行っている。また、十二月には各学校のスクールバディたちが一堂に会し、それぞれの活動内容を紹介し、お互いに意見交換を行うスクールバディ・サミットを昨年に引き続き開催する予定である。

今後は、小学校での効果も検証しながら、いじめ防止プログラムの実施校を段階的にふやし、スクールバディ活動を教員や保護者、地域にまで広げることにより、いじめを許さない学校づくりを目指していきたい。

社交ダンスサークル体育館の利用実態は

質問　市内の社交ダンスサークルでは、チャリティー社交ダンスパーティーを開催するなど、多くの参加者が心から楽しんで活動しているが、秩父宮記念体育館のメインアリーナにおける社交ダンスの利用実態と、利用に対する市の考え方を聞きたい。

答弁　メインアリーナでの利用実態としては、チャリティー社交ダンスパーティーの会場として年一回の利用があることを確認している。

利用に対する考え方については、メインアリーナではさまざまな競技種目の大会等が開催されるため、その運営に支障を来さないよう、フロアの維持管理には万全を尽くしており、社交ダンスの大会でメインアリーナを使用する場合は、ダンスパネルを敷いている。体育館で用意しているダンスパネルの利用については、大変な労力を要することも承知しているが、理解と協力をお願いしたい。

なお、今後は軽体育室において、試行的にヒールカバーを装着した場合のフロア状態を検証したいと考えている。

学校での芝生化導入全校へ計画的に推進

質問　校庭の芝生化について、校庭全面ではなく、その一部を手間暇をかけず原っぱ化することでも、児童等の活動環境には十分足りると考える。今後の具体的な芝生化計画について、教育委員会の考えを聞きたい。

答弁　学校施設での芝生化を計画的に推進していくため、小・中・特別支援学校全校で芝生化に適した箇所の調査を行ってきた。改築校においては、基本設計の段階から計画的に芝生化を図るが、既存校については、この調査をもとに、学校と調整を図りながらポット苗施工の方式により、順次、芝生化を図っていきたいと考えている。

来年度は、芝生化を希望している四、五校と各学校の特性を生かした芝生化を行い、今後は新総合計画の中で計画的な芝生化を位置づけ、すべての学校での芝生化を推進していく。

児童虐待の通告安全確認の方法は

質問　厚生労働省の指針では、虐待の通告を受けてから四十八時間以内に当該児童と面会し、児童の安全確認をすることが望ましいとされているが、本市では確実に安全確認が行われているのか。また、その際の保護者とのやりとりはどのような状況なのか聞きたい。

答弁　児童の安全確認については、本市では家庭訪問や保育園、学校等での確認により、確実に実施しており、緊急性がある場合には初期調査終了後直ちに確認に向かうなど、おおむね二十四時間以内に実施している状況である。

訪問時の状況については、まず、保護者に虐待の疑いがあるとの通告があったことを説明し、内容の確認とともに日ごろの子育ての状況を聞いている。その際、虐待等していないのに通告され、訪問を受けたとの不快感を示されることがあるが、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した人には通告義務があること、また、市や児童相談所は、通告を受けた場合には家庭訪問等により児童の安全確認をしなければならないことを説明し、理解を得ている。

地引き網体験学習で漁業への理解を図る

質問　地引き網漁業体験学習イベントの開催について、主催者としての感想と今後の取り組みについて聞きたい。

答弁　地引き網漁業体験学習イベントは、藤沢の漁業や魚介類について知ってもらうとともに、海の環境に親しみ、水産物の地産地消及び市内水産業の発展を図るため、藤沢市漁業協同組合の協力を得て本年度から開催したもので、市内在住の親子を対象に夏休み期間中の七月と八月の計二回開催した。

参加者は募集人数各百五十人に対し、二回とも倍近くの応募があり、それぞれ抽せんを行うような状況であったことから、市民からは大変関心を持っていただいたものと考えている。

イベント当日は、夏休みの暑い時期であったが、日差しを避けるための建物の使用やテントの設置などの藤沢市漁業協同組合からの配慮に対し、参加者から感謝の声が届いている。

また、体験学習においては、藤沢市漁業協同組合から地引き網のかけ方や網の引き方の説明を初め、藤沢でとれる豊富な魚種やその食べ方の説明もあり、水産物の地産地消の推進につながるよい機会として、継続して実施していきたいと考えている。

9月から設置が始まったステーション＝湘南工科大学

ステーションを順次設置
バイクシェアリング社会実験
観光エリアにも拡大を図る

質問　市では、湘南工科大学等との産学官連携によるバイクシェアリング（自転車の共同利用）の社会実験を行うとのことだが、有効活用のためにはステーションの拡大が必要と考えるが、設置について、どの程度計画しているのか。

答弁　今回の実証実験については、まず第一段階として、本年九月から平成二十三年三月までの六カ月間に湘南工科大学及び辻堂駅南口の二つのステーション設置から始め、順次辻堂地区内に追加設置をしていきたいと考えている。

第二段階は、二十三年四月以降、鵠沼方面に拡大実施する予定だが、その際、より利便性を高めるため、小田急線とのアクセスを踏まえたステーションの設置を検討していきたいと考えている。

さらに、第三段階として、辻堂駅北口の湘南C－X（シークロス）周辺の新たな交通システムとして導入を図るため、二十四年四月以降、明治地区へも拡大する予定である。あわせて、湘南海岸、江の島等の観光エリアにも拡大していきたいと考えている。

産業振興計画の策定経済団体等の意見は

質問　市では産業振興計画の策定に向けて取り組んでいると聞くが、現在の状況について聞きたい。また、地域経済団体等の意見はどのように反映するのか。

答弁　産業振興計画の策定に関しては、現在、新総合計画の理念、方向性に即して、新総合計画の基本構想、基本計画の策定プロセスの中で、市民、地域からの意見を踏まえ、さらに専門的知識や経験を有する方々からの意見を受けるため、本年七月三十日に第一回の有識者会議を実施している。

この会議には地域経済団体、市内事業者、国、県の支援機関に加え、市内四大学との包括協定に基づき大学からの参加も得て、市内産業の現状、今後取り組むべき戦略課題の設定や施策の検討について、さまざまな意見を受けている。

今後、これらの意見をもとに議論を深めていく中で、地域活性化のための実効性のある産業振興計画を策定していきたいと考えている。

9月定例会 本会議　議員出席表

席番号	氏名	9/1	9/3	9/14	9/15	9/16	9/17	9/22	10/4
1	竹村雅夫	○	○	○	○	○	○	○	○
2	植木裕子	○	○	○	○	○	○	○	○
3	三野由美子	○	○	○	○	○	○	○	○
4	柳田秀憲	○	○	○	○	○	○	○	○
5	加藤なを子	○	○	○	○	○	○	○	○
6	高松みどり	○	○	○	○	○	○	○	○
7	柳沢潤次	○	○	○	○	○	○	○	○
8	原田伴子	○	○	○	○	○	○	○	○
9	桜井直人	○	○	○	○	○	○	○	○
10	市川和広	○	○	○	○	○	○	○	○
11	佐藤春雄	○	○	○	○	○	○	○	○
12	佐賀和樹	○	○	○	○	○	○	○	○
13	高橋八一	○	○	○	○	○	○	○	○
14	伊藤喜文	○	○	○	○	○	○	○	○
15	真野喜美子	○	○	○	○	○	○	○	○
16	宮戸光	○	○	○	○	○	○	○	○
17	浜元輝喜	○	○	○	○	○	○	○	○
18	熊倉旨宏	○	○	○	○	○	○	○	○
19	井上裕介	○	○	○	○	○	○	○	○
20	原輝雄	○	○	○	○	○	○	○	○
21	松長泰幸	○	○	○	○	○	○	○	○
22	諏訪間春雄	○	○	○	○	○	○	○	○
23	山口幸雄	○	○	○	○	○	○	○	○
24	矢島豊海	○	○	○	○	○	○	○	○
25	渡辺光雄	○	○	○	○	○	○	○	○
26	加藤一	○	○	○	○	○	○	○	○
27	栗原義夫	○	○	○	○	○	○	○	○
28	河野顕子	○	○	○	○	○	○	○	○
29	鈴木明夫	○	○	○	○	○	○	○	○
30	橋本美知子	○	○	○	○	○	○	○	○
31	増井秀夫	○	○	○	○	○	○	○	○
32	大塚洋子	○	○	○	○	○	○	○	○
33	大野美紀	○	○	○	○	○	○	○	○
34	松下賢一郎	○	○	○	○	○	○	○	○
35	塚本昌紀	○	○	○	○	○	○	○	○
36	竹内康洋	○	○	○	○	○	○	○	○